

2024年1月

お客様各位

一般財団法人日本食品分析センター

### アスタキサンチン試験方法変更のご連絡

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、受託分析試験項目「アスタキサンチン」につきましては、以下の通り、試験方法の変更を予定しております。

アスタキサンチン試験方法については、これまでも一般食品のご依頼において、「エステル型アスタキサンチン」を含む検体での酵素処理条件等の見直しをしてまいりました。今回は、環境や作業者の健康を配慮し、ソフトカプセル形態の検体に対する抽出工程の追加変更となります。

本変更は、食品表示基準「機能性表示食品制度」に基づく届出試験法にも関連してくることからご案内いたします。

今後とも一層の技術向上に注力し、皆様のお役に立つよう努力を重ねてまいります。何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

#### 記

##### 1. 変更概要

内容	変更前	変更後
抽出溶媒	クロロホルム	HAET 混液※
カプセルの皮膜処理	内容液と被膜を別々に処理	一括して処理
酵素反応時間及び反応装置	120分 水浴	90分 恒温器

※HAET 混液：ヘキサン、アセトン、エタノール及びトルエンの混液(10:7:6:7)

##### 2. 変更時期

2024年2月受託分より変更いたします。

ご相談は以下問合せ先までお願いいたします。

#### 【本件に関するお問合せ先】

一般財団法人日本食品分析センター 多摩研究所 ビタミン分析一課

tm2d-inquiry@jfrl.or.jp

以上